

2019



3年 ウイングマンサッカー

松戸市立八ヶ崎小学校

ウイングマンサッカーは・・・

- ・ 規則を工夫した攻守入り交じりのボールゲームである。
- ・ 敵に邪魔されず、ボールを手で扱うことができる「ウイングマン」を活用しながら攻撃することができる。

児童から見ると・・・

- ・ ウイングマンを活用しながら攻撃することができる。
- ・ ルールを工夫したり、試合形態を変えたりすることで、攻撃の楽しさが味わえる。  **親しみやすい**
- ・ 足でボールが上手く扱えない。
- ・ 他のゲーム（ボール運動）に比べ、個人差や男女差が生まれやすい。  **苦手意識に繋がってしまう**

学習カード

教材

学習過程

本校では・・・

☆ **仲間と協力したウイングマンを活用した攻撃が展開されるゲームを、主体的・対話的で深い学びを通して実現する。**

《ルール》

☆始めから提示するルール⇒**シンプルなものにする。**

- 6対2。【攻撃：ウイングマン3人、フィールド3人 守備：2人】
- 2分間の攻撃を2回行う。終わったら、攻守を入れ替え同様に行う。
- 攻撃は、最初にウイングマンへパスをする。
- ウイングマンは、手でボールを扱うことができる。しかし、直接ゴールをねらうことができない。
- 守備は、ボールを奪ったら、コートの外にいる味方へボールを出す。
- 攻撃中にボールがコートの外へ出た場合は、出た場所のウイングマンからリスタートする。
- ゴールは、1点とする。

★追加の可能性のあるルール

⇒**児童の困り感に応じて、教師が提案・追加する。**

児童の困り感	追加のルール	個人やチームのメリット
• もっとたくさん得点したい。 • いつも同じ人ばかりが、得点している。	• 得点者にとって、ゲーム最初の得点であった場合、3点とする。	• 多くの味方が得点できるよう、積極的にパスをするようになる。
• もっとたくさん得点したい。	• ウイングマンからのパスでゴールした場合、2点とする。	• ウイングマンのよさに気づき、ウイングマンを活用した簡単な作戦を積極的に実行しようとする。

※単元前半で、パスやドリブルの技能を獲得しつつウイングマンを活用することのよさに気付くことができるようにする。

単元後半から終盤にかけて、ウイングマンを活用した簡単な作戦を選び、実行できるようにする。

《教具》

・ボール



モルテン F4P3000-WR [4号球]

- ・足でのボール操作を簡単にするため、空気圧を調節したローバウンドボールを使用した。

・ゴール



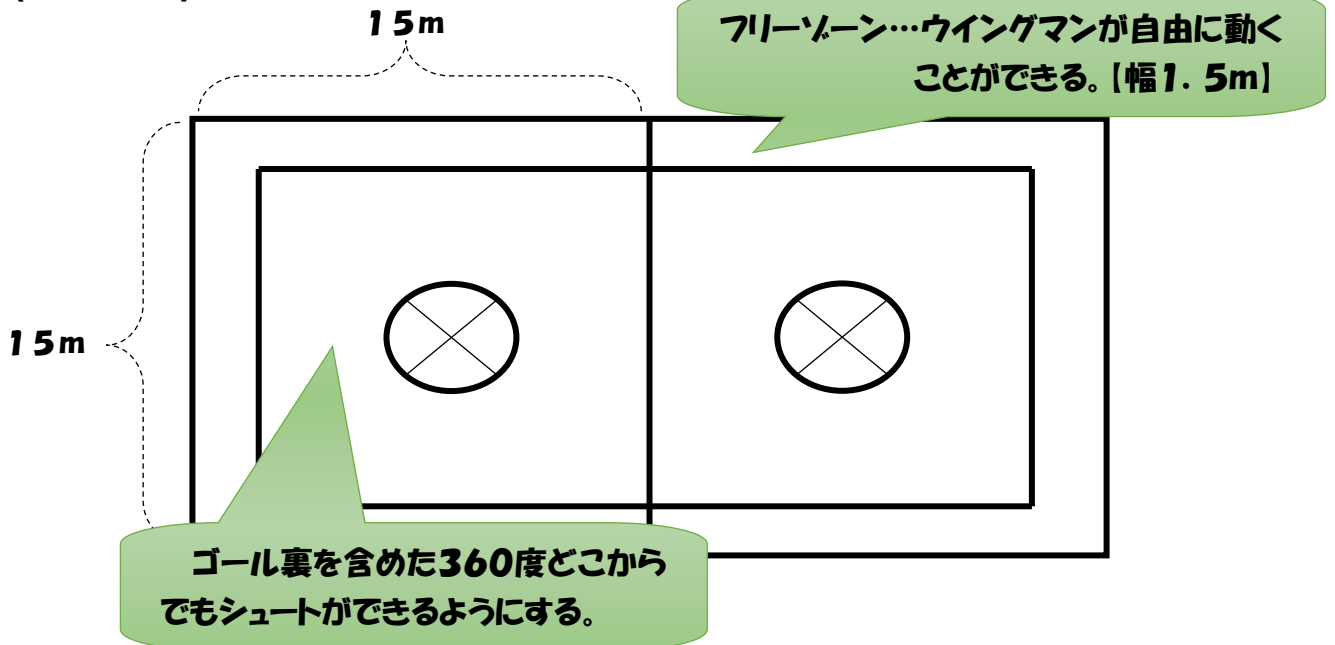
- ・360度どこからでもシュートがねらえるように、パノラマゴールを使用した。
- ・ゴールしたかどうかを視覚的にわかりやすくするために、トラバーにすずらんテープをつけた。
- ・倒れないように、コーン用のおもりを置いた。

・カゴの中身



- ・作戦ボード
- ・マーカーペン
- ・ポケットファイル
(作戦カード, ルールブック, 授業で掲示した写真等)
- ・学習カードファイル (チームの人数分)
- ・水筒

(コート)



教具の作り方や材料の値段などについては、本校までお問い合わせください。

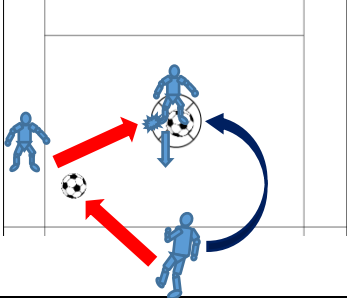
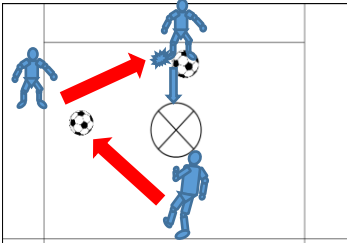
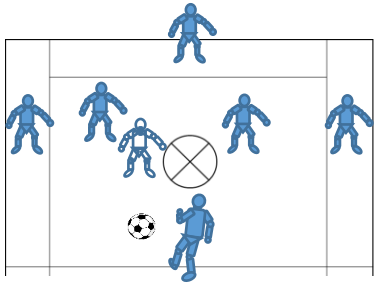
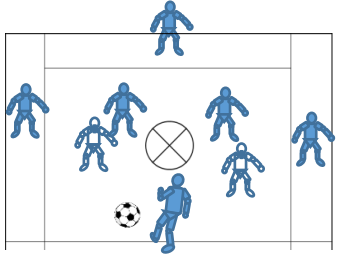
指導計画 ゲーム「ウイングマンサッカー」(8時間)

時間	1 (はじめ)	2	3	4	5 (なか)	6	7 (本時)	8 (おわり)	
	ウイングマンを活用するよさを知る。					簡単な作戦を選んで実行する。			
0	オリエンテーション ・単元を通じた学習のねらい ・ゲームの行い方の説明 ・学習のルール ・用具の扱いについて ・試しのゲーム ・課題をつかむ(チームの課題)	・あいさつ ・用具の準備 ・ウォーミングアップ							
8		・健康観察 ・課題確認 ・作戦確認(ゲームで試すを選ぶ) ※7時間目以降							
10		ゲーム① 第1次リーグ戦	ゲーム① 第2次リーグ戦	ゲーム① 第3次リーグ戦	ゲーム① ペアチーム				
20		<課題解決学習> 教師が動き方のポイントを押さえて指導する。 <予想される課題> パス シュート ドリブル ウイングマン				<課題解決学習> 教師が示した練習方法の中から解決方法を児童が選択又は考案できるようにする。 <予想される課題> ウイングマンを活用した作戦を実行する			
		<予想される練習方法> パス&ランシュート 三角形パス パス通し				<予想される練習方法> チームやペアチームと作戦練習			
28		ゲーム② 第1次リーグ戦	ゲーム② 第2次リーグ戦	ゲーム② 第3次リーグ戦	ゲーム② ペアチーム				
38		・反省(学習カード記述) ※単元のはじめ(1時間目)、なか(5時間目)、おわり(8時間目)については記述内容の変更を見取るため5分とし、それ以外は3分とする。							
45		・まとめ ・クールダウン ・片付け ・あいさつ							

体育の学力（評価規準）

		体育の学力
知識・技能	ボール操作	① 味方にパスすることができる。 ② ゴールにシュートすることができる。
	ボールを持たないときの動き	③ 味方からボールをもらうときに、体をゴールに向けることができる。
思考・判断・表現		① 規則を工夫している。 ② 簡単な作戦を選んでいる。 ③ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度		① ゲームや練習に進んで取り組もうとしている。 ② ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ③ ゲームで使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ④ ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ⑤ ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めようとしている。 ⑥ ゲームやそれらの練習の際に、使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

課題解決のために必要と予想される練習方法

<p>①</p>	<p>パス&ランシュート ウイングマン1人 フィールド1人</p>	<p>ウイングマンにパスを出し、ウイングマンから投げ入れられたボールを止めてシュートする。転がってきたボールを止めて、シュートする技能、パスを出したら前方に走り込む感覚を身に付けることを目的とする。</p> 
<p>②</p>	<p>三角形パス ウイングマン1人 フィールド2人</p>	<p>ウイングマンにパスを出し、ウイングマンからゴール近くにいる味方にパスを出してシュートする。三角形をつくるよさを知るとともにゲームで実行できるようにすることを目的とする。</p> 
<p>③</p>	<p>パス通し ウイングマン3人 フィールド3人 守備1人</p>	<p>ウイングマン3人とフィールドプレーヤーの3人がパスを繋ぎ、守備の1人はそれを阻止する。敵のいないところを見つけて動いたり、フリーの味方にパスを出す技能を身に付けたいことを目的とする。</p> 
<p>④</p>	<p>ウイングマンを活用したハーフコートゲーム ウイングマン3人 フィールド3人 守備1人</p>	<p>チーム又はペアチームとチームで選んだ簡単な作戦をゲーム形式で行う。チームで考えた作戦を実際に行い、動きを理解することを目的とする。</p> 

展開 1 (1時間目 オリエンテーション)

- ・「これならできそう」「やってみたい」と学習に取り組むことができるようにする。※教材との出会いが大切
- ・単元を通してのねらいを伝え、学習のめあてをもつことができるようにする。
- ・用具の扱い方や場づくりについて指導する。
- ・ウイングマンサッカーにおけるルールを指導する。※複雑すぎないように

時配	過程	・学習内容と活動	○指導と支援
20	あいさつ 健康観察 オリエンテーション 課題確認 試しのゲームについての説明	<p>○大きな声で元気のよいあいさつで学習が始められるようにする。</p> <p>○集合場所、並び方、服装、持ち物の置き場所について確認する。 (ビブスはズボンにしまう。赤白帽子は後ろ向きにする。ミサンガやピンを外す。)</p> <p>○健康観察を行う。</p> <p>○ウイングマンサッカーの学習のねらいや進め方について伝える。</p> <p>・単元を通して、自分がどのようなことを頑張りたいのか、どのような姿になりたいのかを考え、発表する。</p>	<p>○指導と支援</p>
		<p>ウイングマンサッカーを楽しむためには、どんなことができるとよいだろうか。</p>	
		<p>・本時の課題を知り、ゲームを通してチームとしてどのような課題があるのかを見付ける。</p> <p>○課題は、声や協力などの態度面ではなく、パスやシュートといったボール操作やボールを持たないときの動きなど、技能面に関することを見付けるように伝える。</p>	
		<p>○2コート同時に、各コートでペアチームと行うことを伝える。</p> <p>○ルールについて、以下の内容を確認する(初めは簡単に)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6対2。【攻撃：ウイングマン3人、フィールド3人 守備：2人】 ・2分間の攻撃を2回行う。終わったら、攻守を入れ替え同様に行う。 ・攻撃は、最初にウイングマンへパスをする。 ・ウイングマンは、手でボールを扱うことができる。しかし、直接ゴールをねらうことができない。 ・守備は、ボールを奪ったら、コートの外にいる味方へボールを出す。 ・攻撃中にボールがコートの外へ出た場合は、出た場所のウイングマンからリスタートする。 ・ゴールは、1点とする。 <p>○学習板のマグネットや掲示物を使いながら、視覚的に理解できるようにする。</p>	

	学習の場，用具の準備をする。	○運び方や運ぶ場所について確認する。 (ゴールは2人か3人で，他のものは1人で運ぶ。カゴや得点板は，コートから3m程度離して置く。)
	ウォーミングアップ	○チームで分担し，協力して素早く準備するよう伝える。 ○必要な部位をほぐすとともに心肺機能を高められるよう，担任が主導で準備運動とボール慣れの運動を行う。 ○二人組になってパスし合うように指導する。 ○声を出しながら練習を行うように伝える。
	健康観察 チームでの確認	○健康観察をする。(必要に応じて水分補給をする時間を設ける。 ・試合に出るメンバーを確認するよう伝える(単元を通しての出場回数に偏りが出ないように配慮する)。
15	試しのゲーム①	・センターラインに全員整列して並ぶ。 ・笛の合図で挨拶をする。 ・コート内で円陣を組んで気合を入れる。 ・ゲーム終了の笛でセンターラインに整列して礼を言う。
	全体での確認	○必要に応じて水分補給をする時間を設ける。 ○試しのゲーム①を終えて，ルール等で困ったことを確認する。
	試しのゲーム②	・試しのゲーム①と同様に行う。
10	反省 まとめ	○円になって話し合う，友達の見解をしっかりと聞いてから書くなど，チームでの反省の仕方や学習カードの書き方について確認する。 ・チームごとに集まり話し合いながら，チームや個人の課題について学習カードに記述する。 ○児童が発言を行う際，他の児童の意見を受けて発言できるように配慮する。
	クールダウン	○教師主導で整理運動を行い，使った部位をほぐすことができるようにする。
	片付け あいさつ	・チームで分担し，協力して素早く片付けをするよう伝える。 ○毎時間，元気よくあいさつをして終わることができるよう伝える。

7	<p>課題解決学習</p> <p>ゲーム②</p> <p>反省 まとめ</p> <p>クールダウン</p> <p>片付け あいさつ</p>	<p>○必要に応じて水分補給の時間を設ける。</p> <p>・本時の課題に対してどうだったかを、チームや全体で話し合う。</p> <p>○話合いが停滞しているチームに対しては、課題を確認させるために教師が主導でうまくいったことと、うまくいかなかったことを確認し合うよう伝える。</p> <p>○チームの困り感に応じて教師が練習方法を紹介する。 (「パス&ランシュート」「三角形パス」「パス通し」)</p> <p>・チームで練習を行う。</p> <p>○ゲームを楽しむと同時に、勝敗だけにこだわらず、練習したことをゲームで生かすことができたかを考えながらプレーするように伝える。</p> <p>・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。</p> <p>○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮する。</p> <p>○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。</p> <p>・チームで分担し、協力して素早く片付けをする。</p> <p>○元気よく挨拶をする。</p>
---	---	--

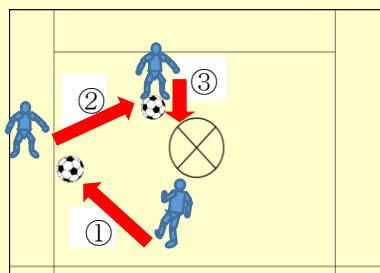
展開3 (6~8時間目)

時配	過程	・学習内容と活動	○指導と支援
8	あいさつ 準備 ウォーミングアップ 健康観察	<ul style="list-style-type: none"> ・服装を整えて整列をして、元気よくあいさつをする。 ・チームで分担して、素早く場や用具の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な部位をほぐすとともに心肺機能を高めることができるよう、教師主導で準備運動とボール慣れの運動（パス回し）を行う。 ○パス回しでは、ボールの正面に入り、指示された体の部位（足の裏や膝など）でボールを止めるよう指導する。 ○健康観察をする。必要に応じて水分補給をする時間を設ける。
30	課題確認	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに記述した前時の課題とそれに対する教師のコメントを読み、本時の課題に対して見通しをもってから活動に入るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を確認する（本時の課題は、前時までの児童の困り感やゲームの様相を基に設定する）。
		< 6時間目 >	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> シュートをたくさん決めるには、どんなこうげきをしたらよいだろうか。 </div>
		< 7時間目 >	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ウイングマンをつかった作せんでシュートを決めるには、どうしたらよいだろうか。 </div>
		< 8時間目 >	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ウイングマンをつかった作せんで、たくさんシュートを打とう。 </div>
	ゲーム①	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の授業での課題が確認できるように、よく書けていた学習カードを拡大コピーして紹介する。 ○チーム内での作戦を選んでから、試合に取り組むように支援する。 ○よいプレーがあったときには、全員に聞こえるように大きな声で褒めて、何がよかったのかを具体的に知らせることで、全体に共有する。 ○素早く行動してたくさん動けるよう声をかけて回る。 ○必要に応じて水分補給の時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康観察をする。必要に応じて水分補給をする時間を設ける。
	課題解決学習	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題に対してどうだったかを、チームや全体で話し合う。 ○話し合いが停滞しているチームに対しては、課題を確認させるために教師が主導でうまくいったことと、うまくいかなかったことを確認し合うよう伝える。 ○チームの困り感に応じて教師が練習方法を紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・チームで選んだ作戦を実戦形式で練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康観察をする。必要に応じて水分補給をする時間を設ける。

ゲーム②

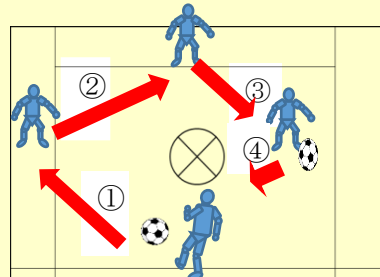
〈予想される作戦〉

「三角パス作戦」



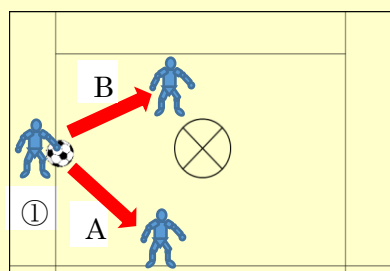
- ①フィールドからウイングマンへパスをする。
- ②ウイングマンからフィールドにパスをする。
- ③ゴールにシュートをする。

「ウイングマン作戦」



- ①フィールドからウイングマンへパスをする。
- ②ウイングマンからウイングマンへパスをする。
- ③ウイングマンからフィールドへパスをする。
- ④ゴールにシュートをする。

「だまし作戦」



ウイングマンからフィールドへパスを出す際に相手をだましてパスをする。(Aに出そうとしてBへパス) (Bに出そうとしてAにパス)

○ゲームを楽しむと同時に、勝敗だけにこだわらず、練習したことをゲームで活かすことができたかを考えながらプレーするように伝える。

・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。

○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮

7 反省
まとめ

	クールダウン 片付け あいさつ	する。 ○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。 ・チームで分担し、協力して素早く片付けをする。 ○元気よくあいさつをする。
--	-----------------------	--